

講義コード	11C0120102	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	ミクロ経済学演習B					辻村 雅子		第1期	
履修前条件						備考			
授業の目的	この演習では、ミクロ経済学の講義内容を正しく理解し、自らの理解度を確認することを目的として、ミクロ経済学の講義の進み方に合わせて練習問題を解く時間を与え、解説を行う。演習であるので、出席するだけでなく、演習時間に与えられる課題に取り組むことが必要である。一般的なミクロ経済学の問題を、自らの力で解けるようになることが演習の重要な目的である。								
到達目標	この演習では、ミクロ経済学基講義内容を理解し、練習問題を解く力をつけることができる。 また、公務員等の各種資格試験の準備としても役立つ。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業外学修時間は、最低でも60時間以上必要である。毎回の演習前に教科書と講義資料の内容や問題に目を通しておくこと。								
授業計画	【第1回】 演習のガイダンス 【第2回】 需要と供給の均衡 【第3回】 需要と供給の均衡 【第4回】 需要と供給の均衡 【第5回】 消費者行動1 【第6回】 消費者行動2 【第7回】 消費者行動3 【第8回】 生産者行動1 【第9回】 生産者行動2 【第10回】 生産者行動3 【第11回】 市場均衡1 【第12回】 市場均衡2 【第13回】 市場均衡3 【第14回】 市場均衡4 【第15回】 まとめ								
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢（70%）と提出課題（30%）によって評価する。								
フィードバックの内容	リアクションペーパーに対するフィードバックは、翌週の講義内やポータルサイトにて行う。								
教科書	『ミクロ経済学をつかむ』神戸伸輔ほか（有斐閣）2006年								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	教科書とミクロ経済学の授業資料を必ず持ってくること。演習用の教材・資料および連絡事項を、学内のポータルサイトを利用して掲示する場合があるので、担当者の指示に従うこと。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付ける。								
その他	この演習は『ミクロ経済学』と同時に履修することを前提とする。『ミクロ経済学基礎』の単位を修得済みであることが望ましい。								